

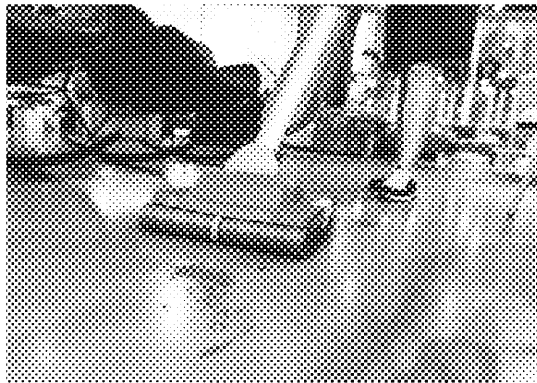
掃除ロボレンタル好調

リ・プロダクツ、人員増強

【大津】リ・プロダクツ（大津市、高奥要輔社長）は、掃除ロボットの法人向けレンタルサービスの人員を増強する。2025年をめどに現状比2倍以上に増やす方針。深刻化する人手不足によりロボットを活用した清掃ニーズが高まっていることなどから、同レンタルサービス事業は急拡大。23年7月の同事業売上高は前年同月比約3・8倍に伸長しており、体制を強化して旺盛な需要に応える。

商品ラインアップ拡充

法人向けレンタルサービスを担当者は現在4人だが「現状で手強い。人数さえ確保でき



ればもっと展開できる。毎年2倍ずつは増やしたい」（高奥社長）とする。ロボットの認知度や性能が向上

8月末に商品ラインアップに追加したケルヒャージャパンのコードレス電動モップ
 したことも同サービスが好調な要因だと分析する。
 清掃サービスや清掃用品の製造販売を手がけるリ・プロダクツは、18年から掃除ロボットのレンタルサービス事業を始めた。ニデックや大手飲食チェーン店などで導入され、今春には毎月のレンタルロボット稼働台数が10

00台を突破。24年12月期に同事業の売上高2億円を計画する。
 C B P」を新たに追加。掃除ロボットだけでは落ちにくい頑固な油汚れに対応可能で、飲食店などでの利用を想定。契約台数で月1
 レス電動モップ「床洗浄機 BR 30/1
 00台を目指す。7月末には同社の床洗浄ロボット「KIRA B 50」を日本で初導入し、清掃サービスの現場で活用している。今後も同社製品のラインアップを増やす予定。